

科目名	音楽基礎A3							年度	2025	
英語科目名	Basic Theory of Music A3							学期	前期	
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	早川治	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 音楽理論を深く理解し、実際の作曲、アレンジ、演奏などの実践的なスキルを向上させ、音楽の専門家としての能力を発展させていく。										
【科目の概要】 ミュージシャンとして必要なハーモニーとスケールの理論を学ぶ。										
【到達目標】 A. 長音階上の和音、短音階上の和音、平行調・同主調での転調がわかる。 B. より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る。 C. 長音階上の和音、短音階上の和音、平行調・同主調での転調の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する。										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A	長音階上の和音、短音階上の和音、平行調・同主調での転調がわかる		長音階上の和音での転調がわかる			到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る		楽曲を音楽理論を活用して分析できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	長音階上の和音、短音階上の和音、平行調・同主調での転調の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		長音階上の和音に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する			到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解□										
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

